



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和3年9月30日発行



▲全国大会に出場した選手たち



▲入学式での校長式辞

関東大会に出場した選手たち▶

▼関東大会に出場した水泳部



令和3年

9/30

第63号

- 身につけさせたい「8つの力」 学校長 大橋 芳樹 2ページ
- 令和4年度入試要項 3ページ
- 関東大会 4~6ページ
- 高校総体・総文祭 7~8ページ
- 本校舎トピックス 9ページ
- 富田キャンパストピックス 9~10ページ
- 白鷗大学だより 11ページ
- PTAだより・WEB学校紹介・他 12ページ



身につけさせたい「8つの力」

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹

昨年度は副校長としてお世話になっていましたが、本年4月より校長を仰せつかりました大橋芳樹と申します。校長として保護者の皆様への初めてのご挨拶となりまして、本校の教育の原点となっていることや、教育に対する思い、考え方などについてお話しいたします。

まず、白鷗大学足利高等学校という校名にある「白鷗（はくおう）」の由来についてです。「白鷗」は文字どおり「白いカモメ」を意味しますが、アメリカの作家リチャード・バックが出版した小説『かもめのジョナサン』の主人公にちなんで、白鷗大学初代学長の上岡一嘉が命名したものです。上岡一嘉は、主人公のジョナサンが寝食も忘れ、飛ぶことの探究に打ち込んだ気高い姿に感銘を受け、ジョナサンのように「学ぶ喜びを探究してほしい」との思いを「白鷗」という言葉に込めました。



入学式のひとつ



入学式のひとつ

次に、保護者の皆様もよくご存知の「PLUS ULTRA（プラスウルトラ）」という言葉についてです。この言葉は、上岡一嘉が白鷗大学第一回卒業式で卒業生に贈った言葉です。「PLUS ULTRA」を日本語に訳すと「さらに向こうへ」という意味になります。大航海時代にスペイン王国が世界進出を果たす際に、旗印として用いた言葉です。学校法人の建学の精神ともなっており、上岡一嘉の「従来の常識や既成概念にとらわれず、未知の世界へ挑戦する勇氣や情熱をもって前進し続けてほしい」という思いが込められています。

また、現在、日本では教育改革が推し進められています。世界の人たちと協働しながら、予測不能な激動の時代を力強く生き抜いていくための基礎的な力を高校生に身につけさせることが求められています。そこで、本校でも検討を

重ねた結果、様々な教育活動を通して、生徒一人ひとりに、

- ① 分析力 ② 思考力
 - ③ 発信力 ④ 想像力
 - ⑤ 創造力 ⑥ 行動力
 - ⑦ 傾聴力 ⑧ 自己肯定力
- という「8つの力」を身につけさせることを目指すこととしました。「8つの力」のそれぞれの意味は次のとおりです。

- ① 分析力…複雑な物事を細かな要素に分け、その関係性などを解明する力
- ② 思考力…考えや思いを巡らし、問題解決の筋道や方法などを導き出す力
- ③ 発信力…自分の考えや思いを他者が理解できるように的確に伝える力
- ④ 想像力…過去の経験を基に、頭の中に新しい事柄や事象などを思い描く力
- ⑤ 創造力…既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決法



入学式で誓いの言葉を述べる
特1の1菊地愛生さん(白鷗足利中)

- ⑥ 行動力…目標達成のために、自らの意思で積極的に行動を起こす力
- ⑦ 傾聴力…他者の話に耳を傾け、判断や批判を加えずそのまま受け止める力
- ⑧ 自己肯定力…ありのままの自分を価値ある存在として受け入れる力



入学式での担任紹介

本校では、この「8つの力」を生徒たちに身につけさせるために様々な取り組みをしています。生徒たちには、それらの取り組みに、元気に明るく前向きに挑戦していただくと思っています。保護者の皆様にもご支援とご協力を賜われれば幸いです。

| 入試相談会 (中学校3年生と保護者対象) | | | |
|----------------------|-------------------------------------|------------------------|---|
| | 本校舎 | 富田キャンパス | 埼玉会場 <市民プラザかそ> |
| 期 日 | 10月16日(土) 11月 6日(土) 11月28日(日) | 11月 3日(水) 11月20日(土) | 10月22日(金) 17:00~20:00 11月14日(日) 10:00~15:00 11月26日(金) 17:00~20:00 |
| 時 間 | 9:00~12:30 | 9:00~12:30 | 白鷺大学会場 <大行寺キャンパス> 11月23日(火) 10:00~15:00 |

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合のよい日時においでください。事前のお申し込みは不要です。この件についてのお問い合わせは各校舎に連絡するかEメールでお願いします。✉ nyushi@hakuoh.ed.jp

令和4年度の入試要項が下記のように決まりました。出願はすべてインターネットで行います。詳細につきましては、本校のホームページ、または本校の入試要項でご確認ください。
なお、今年度も左記のとおり入試相談会を実施します。お気軽にご参加ください。

**令和4年度
入試要項決まる**

令和4年度入試要項

| | 試験別 | コース(入学校舎) | 試験日 | 試験教科 | 出願期間 | 合格発表 |
|-------|----------------------|---|--|-----------------|----------------------------|------------------|
| 第1回入試 | 学業特待生入試 (併願) | 特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。 | 令和4年 1月5日(水) | 国・社・数・理・英 | 令和3年 11月27日(土)~12月7日(火) | 令和4年 1月11日(火) |
| | 特別進学コース 入試(単願) | 特別進学コース(富田キャンパス) 不合格者については、試験の得点により学業特待生入試に換算して判定します。 | | 国・社・数・理・英 面接 | | |
| | 単願推薦入試 | 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎) | | 国・数・英・面接 | | |
| | 運動部・文化部 特待生入試(単願) | 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎) | 令和4年 1月5日(水) 国・数・英・面接 令和4年 1月6日(木) 実技 | | | |
| 第2回入試 | 学特ランクアップ 入試(併願) | 特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。 | 令和4年 1月30日(日) | 国・数・英 | 令和4年 1月11日(火)~18日(火) | 令和4年 2月3日(木) |
| | 一般入試 (併願) | 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎) | | 国・数・英・面接 | | |

・新型コロナウイルスの感染状況により、予定が変更される場合がございますので、ご了承ください。

富田キャンパス オープンキャンパス

申込締切日 10月4日(月)

- 10月 9日(土)
- 10月23日(土)

各日定員
180名

- ・ 9:30~ 受付
- ・ 9:55~ 学校説明
- ・ 10:50~ 授業見学
- ・ 11:35 終了予定



白鷺大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩3分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利市駅・館林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および葛生方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067
TEL.0284-91-2633



白鷺大学足利高等学校本校舎

- JR足利駅南口より徒歩1分
- 東武線足利市駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2
TEL.0284-41-0890 (代)
HPアドレス: <http://hakuoh.jp/>

関東大会

インターハイへ向けて

13部 167名が出場

陸上競技部 男子400Mリレーで優勝

6月18〜21日、神奈川県川崎市等々力陸上競技場において関東高校総体陸上競技大会が行われました。男女25名が出場したこの大会は全国高校総体の出場権をかけた大会となります。



表彰合に立つ
男子400Mリレーメンバー

結果は男子の4×1000メートルリレーが予選で大会新記録を出し、決勝でも快走し優勝。さらに男子は4×400メートルリレーでも第3位に入賞。女子の4×1000メートルリレーも第3位に入賞することができました。個人でも男子では文3の4松嶋伶弥さん(小山三中)が2000メートル優勝、1000メートル第2位。総3の1松本涼さん(小山三中)も1000メートルで第5位、総3の5中里碧翔さん(大谷中)が1100メートルハードルで第5位に入賞しました。女子は、総3の2奈桐瑞月さん(三和中)が400メートルハードルで

第2位、文2の1中里百葉さん(田沼東中)が1000メートルハードルで第3位、総2の1福田蒼依さん(矢板中)が走り幅跳びで第4位など入賞者を多数輩出することができました。

学校対抗でも男子が第4位、女子が第7位になるなど、例年以上の活躍をすることができました。この結果、22名の選手が夏の全国高校総体に進むことができました。全国でも活躍できるように頑張ってくださいと思います。

ボクシング部

出場全員入賞 鈴木さんは優勝に輝く!

6月4〜7日、日環アリーナとちぎ体育館分館で開催された第63回関東高等学校ボクシング大会に、ライト級で文3の3上野真悟さん(間々田中)、ウェルター級で文3の3林南斗さん(館林四中)、女子フライ級で総1の5鈴木美結さん(宮代百間中)、女子バンタム級で文3の3五箇歩夢さん(足利二中)、女子フェザー級で文3の1安藤優美菜さん(足利二中)、女子ライト級で総2の4小林渚沙さん(姿川中)の6名が出場しました。結果は、鈴木さんが1年生ながら優勝に輝き、さら

に最優秀選手賞を受賞しました。林さん、小林さんは第2位、上野さん、五箇さん、安藤さんは第3位となり、出場者全員が入賞することができました。

鈴木さんは力強いパンチとテクニクを武器に勝ち進み、決勝では1ラウンドでダウンを取り、相手を圧倒。見事優勝となりました。林さんと小林さんは、決勝に進むもあと一歩のところまで惜しくも敗退。上野さん、五箇さん、安藤さんも準決勝で敗退となりましたが、この悔しさをバネに次



出場した選手たち

女子ソフトテニス部

団体第3位入賞

6月4〜6日、栃木県総合運動公園テニスコートで関東大会が行

われました。個人戦には7ペアが出場しましたが、上位進出は果たせませんでした。団体戦の初戦は



ボールを取って駆け寄る
佐藤さん(左)と一瀬さん

甲府昭和高校(山梨県)と対戦し3ペアとも1ゲームも落とさず3対0で勝利しました。準々決勝の植草学園高校(千葉県)との対戦では文大杉並高校(東京都)を追い詰めるも、あと一歩及ばず敗退。しかし、地元開催の関東大会で第3位入賞となりました。

応援ありがとうございました。

□団体戦・個人戦出場メンバー

- 総3の3 佐藤美々香(山辺中)
- 総3の5 一ノ瀬舞美(小山二中)
- 総3の3 石島 礼菜(古河一中)
- 総3の4 齋藤 楓(若草中)
- 総2の3 菊次 萌花(下館南中)
- 総2の3 橋本和香菜(杉戸広島中)
- 総1の2 日笠 愛美(壬生中)
- 総1の1 柳沼 里彩(西郷中)
- 個人戦出場メンバー
- 文2の3 板井 亜樹(みずき中)
- 総3の4 早川 媛恋(館林四中)
- 総1の5 小林 千晴(花園中)
- 総2の1 大武 千晴(厚崎中)
- 総1の3 梶原 理央(今市中)
- 文1の4 渡邊 知奈(今市中)

軟式野球部

5年ぶりの春季関東大会出場

軟式野球部は、栃木県予選で佐野日本大学高等学校に勝利し、5年ぶりとなる関東大会出場権を獲得しました。そして、5月29日に第69回春季関東高校軟式野球大会がインターハイリハーサル大会として実施されました。

初戦は清原球場で茨城県代表の並木中等教育学校と対戦しました。7回まで無安打に抑えられ、苦しい展開でした。八回に文3の3内田尚希さん(加須北中)がランニング本塁打を打ち追いつけましたが、2対5で敗れ、悔しい結果となりました。

決して楽な道ではありませんでしたが、目標であった関東大会出場はとても貴重な経験となりました。今回の経験を次回の大会に生かしたいと思います。



ランニングホームランを打ち放つ内田さんを
駆け抜ける内田さん

水泳部

水飛沫をあげて

7月20・22日、栃木県総合運動公園水泳場において、第72回関東高等学校選手権水泳競技大会が行われました。本校からは男子13名、女子10名の計23名が出場しました。

今年度の大会は新型コロナウイルス対策により、すべての競技がタイム決勝となり、午前中は女子競技、午後は男子競技というように時間も分けられ、リレー種目は行わないという異例の開催となりました。

そのような中でも、選手たちは今までの練習の成果を出し切り、持てる力をしっかりと発揮し、総1の3尾崎元希さん（足利北中）が男子1000m背泳ぎで第2位、男子2000m背泳ぎで第3位に入賞しました。総3の4手塚友己さん（日光大沢中）は男子2000m自由形においてインターハイ標準



関東大会に出場した水泳部

記録を突破し、文1の2武藤和香奈さん（足利西中）も女子2000m背泳ぎにおいて、ベストタイムの力泳でインターハイ標準記録を突破しました。この結果を受け、3名の選手が長野県で行われるインターハイの出場を決めることができました。

柔道部

インターハイへのステップ



試合前に整列するメンバー(手前)

6月12・13日、山梨県小瀬スポーツ公園武道館において、第69回関東高等学校柔道大会が行われました。本校チームは栃木県予選で準優勝し、栃木県代表として男子団体戦に33回目の出場を果たしました。

初戦をシードで迎えた2回戦、埼玉県代表の武蔵越生高校と対戦しました。先鋒戦から安定した試合運びでポイントを取り、勝利することができました。

大会2日目の3回戦では、千葉県優勝の強豪習志野高校と対戦し

大接戦となりましたが、大将戦でのアクシデントもあり、逆転負けを喫してしまいました。

レベルの高い関東での敗戦は、全国を目指す私たち柔道部にとっては屈辱でしたが、次のステップへのいい刺激にもなりました。関東大会の厳しい経験をもとに、次のインターハイ栃木県予選で団体優勝して、みんなで笑えるように全員で努力したいと思います。

剣道部

3年ぶりに男女揃って出場

6月5・6日、埼玉県立武道館で関東大会が行われ、3年ぶりに男女揃っての出場を果たしました。初日の女子団体戦。初戦（シードの為2回戦）の対戦校は、関東個人優勝者のいる共愛学園（群馬）でした。本校は大将の総3の5大出瑞季さん（壬生中）を中心に、



出場した選手たち

よくまとまったチームで練習試合では勝ち越していました。健闘

むなく、0対1で敗れました。

2日目の男子団体戦。初戦の中央学院（千葉）戦では、副将の総2の2石山嵐太郎さん（小山三中）の引き面で追いつき、代表者戦で、大将の総3の4石川真章さん（陽南中）が飛び込み面で勝負を決めました。続く2回戦の相手は、地元埼玉県王者の本庄第一。リードを許して迎えた大将戦、石川さんが起死回生の返し胴で勝利し、再び代表者戦となりましたが、あと一歩及ばず敗退しました。しかし、主将の総3の2仲川良知さん（西方中）を中心とした本校の快進撃は会場を大いに盛り上げました。

インターハイ出場を逃したため、この大会が3年生にとって最後の大会となりました。目標であったベスト4へは届きませんでした。最後の大会を笑顔で終えることができました。夢は後輩たちに託し、またこれから頑張ってください。

女子ソフトボール部

2年ぶりの関東大会出場

6月5・6日、大田原市グリーンパークにおいて関東高校女子ソフトボール大会が開催されました。空白の1年間、やり場のない気持ちを抱きながら、毎朝の清掃活動や日々の練習にひたむきに取り組んできました。『何か一つでも、

取り組んできた課題を達成しよう』と、本大会に臨みました。



監督から激励を受ける選手たち

初戦は、習志野高校（千葉県）と対戦しました。全国選抜大会準優勝チームなので、胸を借りて挑みました。一回裏の攻撃、主将の1番総3の1茂呂鈴音さん（佐野南中）が中飛打で出塁し、4番文3の3大川実莉さん（坂西中）の左前適時打で1点先取しました。しかし、三回表、内野の失策で同点とされ、その後も失点を許し、1対9で初戦敗退となりました。緊張感の中、平常心でやり抜く厳しさ、基礎基本の大切さなど、この敗退から学ぶことはたくさんありました。無観客での開催となりましたが、貴重な大会に参加できたことに感謝します。そして、更なる成長のために精進します。

【1回戦】

| | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|
| 習志野 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 3 |
| 白鷺足利 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 青木・大川 | | | | | | | 1 |

◇三塁打

総3の5 小和田葉那さん（太田城西中）

男子バレーボール部

支えてくれた人へ感謝

6月3・4日に、埼玉県で開催された関東高等学校男子バレーボール大会に栃木県の第4代表として、2大会連続9回目の出場を果たしました。



2枚でブロックする
文3の4太田昂希さん(壬生中)と
総3の4安藤温斗さん(大平南中)

チームに大きな選手はいませんが、全員で拾って、全員で繋ぐバレーを目指して試合に臨みました。1回戦は、神奈川県第2代表の川崎橋高等学校と対戦しました。強豪校との対戦だったので、ペースを乱されないように気をつけて戦いました。1セット目は先取できましたが、2、3セット目を取られ逆転負けを喫してしまいました。負けはしましたが、昨年、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全ての大会が中止となった悔しさをつづけて、神奈川県の第2代表から1セット取ったことは大きな自信に繋がりました。これからも、応援してくださいっている皆様への

感謝の気持ちを忘れずに、次の大会も全力で戦います。

男子ソフトボール部

関東大会1勝を目指して



4番打者・進3の2石鍋晴人さん
(邑楽中)

6月5・6日、大田原市の美原公園野球場で関東高校男子ソフトボール大会が開催されました。

昨年は新型コロナウイルスの影響により中止。今年は無観客試合で寂しい大会となりましたが、開催されることに感謝の気持ちをこめて試合に臨みました。

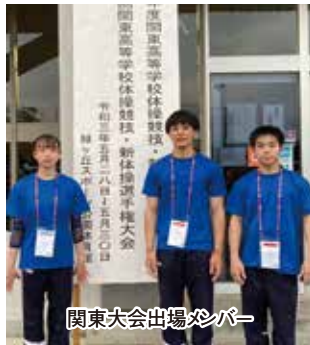
1回戦の相手は千葉県立成田国際高等学校でした。上位大会で勝つことができるチームになることを目標に、毎日、練習に励んできましたが、結果は5回コールド負けと厳しいものになりました。その中でも、各部門員にそれぞれ課題意識が芽生えたことは、大きな収穫だったと思います。その後はインターハイに向けて、この試合の反省を生かし猛練習しました。これからも全力で試合に臨みたいと思います。応援よろしくお祈ります。

体操部

3名が出場

6月4～6日、山梨県の緑が丘スポーツ公園体育館において関東大会が開催され、男子個人に総3の4森田陸斗さん(邑楽中)と文3の4原奏暉さん(毛野中)の2名が、女子個人に文2の1岡村若奈さん(協和中)が出場しました。

今年の大会は、コロナ感染対策として無観客で行われました。そのような中でも、選手たちは大会が実施されることに感謝し、自分の



関東大会出場メンバー

バトントワリング部

関東バトントワリングコンテスト

6月26日、第34回関東バトントワリングコンテストが千葉ポートアリーナで開催され、関東オーブン部門ソロストラット(Jr II)に総1の1宇野木琉那さん(北押原中)と文1の2森田碧さん(鹿沼北中)が出場しました。ソロストラットという種目は、

持っている力を十分に発揮することができました。

今回の経験を生かし、さらに高度な技に挑戦していくとともに、それぞれの課題を克服し、安定感のある演技を目指していきたいと思っています。

女子バスケットボール部

次へのステップ

6月12・13日に群馬県前橋市で行われた関東高等学校女子バスケットボール大会に出場しました。

1回戦の相手は、埼玉県代表の昌平高校でした。試合前半、ディフェンスからの速攻が決まり優位に試合を進めました。その後も徐々に点数を離し、74対47で勝利しました。この試合ではベンチメンバー全員が、コートに立つことができました。2回戦は東京代表の明星学園高校でした。193cmの留学生のいるチームで、高さに



宇野木さんの演技

マーチのリズムに合わせてステップを踏みながらバトンを操作し、

対抗するために速攻や切り返しの速さを意識して戦いました。一進一退の攻防が続きましたが、最終的には82対92で敗れました。

負けはしましたが、チームにとって収穫のある試合となりました。この敗戦を生かし、一人ひとりがさらにレベアアップできるように、練習に取り組みたいと思います。応援ありがとうございます。



大会会場にて

その正確さや優雅なボディワークを審査するものです。森田さんは、演技順がトップで緊張していましたが、ノードロップで踊りきることができました。宇野木さんは、最後の特技で一本落としてしまいました。持ち前の美しいボディワークを存分に発揮し、見事第1位に輝きました。今後さらに上を目指し、努力します。

輝け君の汗と涙 北信越総体2021

ボクシング部 2人で勝ち取った全国

8月7～13日、第75回全国高等学校ボクシング選手権大会が福島県営体育館で実施されました。本校からは、ライト級で文3の3上野真悟さん(間々田中)、ウェルター級で文3の3林南斗さん(館林四中)が出場しました。



出場した林さん(左)と上野さん

今年の大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2年ぶりの大会となり、昨年の先輩の思いを意識する特別な大会になりました。2人にとってもこの大会が3年間の集大成となるので気迫も充分でした。上野さんの初戦は、青森県代表弘前東高校の小森選手。身長差や、リーチ差がありながら、上野さん持前の身体能力を活かし、しっかりとしたリードからのコンビネーションが随所に見られましたが、残念ながら判定負けとなりました。

2回戦から出場した林さんの対戦相手は岩手県代表水沢工業高校の今野選手。互いに試合巧者で一進一退の攻防が続きましたが、林さんに軍配が上がり、全国1勝を挙げました。次の試合はベスト8をかけて愛媛県代表松山工業の湖上選手と対戦。持前のリードを防御され、ペースが掴めないまま3Rが過ぎてしまい、判定で敗れベスト16で大会を終えました。

2回戦から出場した林さんの対戦相手は岩手県代表水沢工業高校の今野選手。互いに試合巧者で一進一退の攻防が続きましたが、林さんに軍配が上がり、全国1勝を挙げました。次の試合はベスト8をかけて愛媛県代表松山工業の湖上選手と対戦。持前のリードを防御され、ペースが掴めないまま3Rが過ぎてしまい、判定で敗れベスト16で大会を終えました。

柔道部 2年ぶりのインターハイに感謝して

8月6～10日、長野県長野市ホワイトリング体育館において、第70回全国高等学校総合体育大会柔道競技が開催されました。栃木県大会の団体戦を優勝し、18回目の出場を果たした我がチームは、初戦から全国強豪である愛知県の大成高等学校と対戦しました。接戦の末、1対1の内容差によって敗れてしまいました。来年につながる試合でした。

個人戦では5階級に出場し、81^キ級で総3の5岸田耕平さん(金光大沢中)が男子200^リ級自由形、



個人戦第5位に入賞した岸田さん(左から2人目)と齋五澤さん(同3人目)

水泳部 尾崎さんが入賞

8月17～20日に長野運動公園総合市民プールにおいて第89回日本高等学校選手権水泳競技大会が行われ、総3の4手塚友己さん(日光大沢中)が男子200^リ級自由形、総1の3尾崎元希さん(足利北中)が男子100・200^リ級背泳ぎ、文1の2武藤和香奈さん(足利西中)が女子200^リ級背泳ぎに出場しました。その結果、尾崎さんは1年生ながら男子100^リ級背泳ぎでB決勝第7位、200^リ級背泳ぎでは見事第8位に入賞しました。



出場した選手たち

また8月23～26日、大阪・東和薬品ラクトブドームにて全国ジュニアオリンピック夏季水泳競技大会が行われ、尾崎元希さんが男子100^リ級第5位、200^リ級背泳ぎ第2位に入賞しました。男子400^リメドレーリレーには尾崎元希さん、文2の3張田聖也さん(旭中)、文1の2瀧澤悠太さん(国分寺中)、手塚友己さんが出場しました。

女子ソフトテニス部 感謝のインターハイ

8月1～4日、石川県和倉温泉運動公園テニスコートで全国高校総体が行われました。5ペアが出場した個人戦では、菊次さん・橋本さんペアが4回戦まで進出するも上位進出は果たせ

ませんでした。団体戦の初戦(2回戦)は大村高校(長崎県)と対戦し2対1で勝利しました。3回戦では羽黒高校(山形県)と対戦しましたが0対2で敗れ、全国選抜大会に続いてのベスト8進出は果たせませんでした。

昨年度は各大会が中止となり、2年ぶりに行われた今年度の全国高校総体は特別な大会となりました。試合に出場した選手も応援の選手も様々な思いを背負って戦いました。無観客ではありましたが、大会が行われたことに感謝したいと思います。

- 団体戦・個人戦出場メンバー
- 総3の3 佐藤美々香(山辺中)
- 総3の5 一ノ瀬舞美(小山二中)
- 総3の3 石島 礼菜(古河二中)
- 総3の4 齋藤 楓(若草中)
- 総2の3 菊次 萌花(下館南中)
- 総2の3 橋本和香(杉戸広島中)
- 総1の2 笠 愛美(壬生中)
- 総1の1 柳沼 里彩(西郷一中)
- 個人戦出場メンバー
- 総1の5 小林 愛未(花園中)
- 総1の3 梶原 理央(今市中)



出場した選手たち

**男子ソフトボール部
悲願の全国大会1勝**

8月3～6日、福井県敦賀市総合運動公園・敦賀市きらめきスタジアムにおいて全国高校総体ソフトボール競技大会が行われました。



監督がアドバイスをもつ選手たち

初戦の相手は岐阜県立加茂高校でした。試合は4失点で迎えた六回裏、1番の進3の3大森裕翔さん（栃木西中）がヒットで出塁すると、進3の2阿部竜也さん（太田城西中）のホームランを含む猛攻で5得点し、試合をひっくり返しました。そして、最終回、主将の進3の2奥田航大さん（館林四中）が投げ切り、6対4で全国大会初勝利を挙げました。

2回戦は沖縄県立読谷高校に0対10、5回コールドの完敗となりましたが、「全国大会1勝」という一つの目標を達成することができました。ここまで応援してくだ

**陸上競技部
全国大会第3位の快挙達成**

さつた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

7月28日～8月1日、福井県福井市9・98スタジアムで開催された全国高校総体陸上競技大会に、男子13名、女子9名、合計22名の選手が参加しました。

結果、男子では文3の4松嶋裕弥さん（小山三中）が200メートル第3位、女子では総2の1福田蒼依さん（矢板中）が走り幅跳びで第9位となり、全国の舞台で2名が決勝進出を果たすことができました。その他にも、各種目で準決勝に進出するなど、栃木県の代表として、活躍することができました。



200M第3位の松嶋さん

コロナ禍の中、2年ぶりに全国高校総体陸上競技大会が行われたことに感謝するとともに、今大会の経験を生かし、来年も全国で活躍できるように頑張っていきます。応援ありがとうございます。

**女子バスケットボール部
悔しい敗戦**

女子バスケットボール部は8月9～15日に新潟県新潟市で行われた全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会に出場しました。1回戦の相手は、長崎県代表の鎮西学院高校でした。試合前半は一進一退の攻防が続きましたが、

**バドントワリング部
第45回全国高等学校総合文化祭**

第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）にバドントワリング部4名が出場しました。昨年はコロナ禍の影響で現地開催ができませんでしたが、今年は沢山の方々のご尽力のおかげで、現地で演技することができました。パレード部門では、和歌山市内の大通りをバトンの演技をしながら、感謝の想いを込めて笑顔でパレードしました。感染防止対策に



パレードの様子

よる規制の中で例年より少ないものの、沿道には拍手を送ってくださる人々も

こぼれ球からのリバウンドシュートなどで加点し6点リードで折り返しました。試合後半はミスが目立ち、前半とは逆にこぼれ球を相手に取られる回数が増え、逆転されました。最終的には59対60で自分たちの力を出し切れずに終わった悔しい敗戦となりました。この負けを糧にし、今後は冬のウィンターカップベスト8を目標に日々

いて嬉しかったです。

バドントワリング部門は、田辺スポーツパーク体育館で開催されました。今年は、バトンだけでなくカラフルなフラッグも用いて、県内4校合同33名で演技しました。コロナ禍で思うように練習ができませんでしたが、本番では学校の壁を越え、一体感を味わいながら演技をすることができました。

- 出場メンバー
- 総2の2下境 来弥亮（小山城南中）
 - 文2の1渡来 愛夢亮（白鷺足利中）
 - 総1の1宇野木琉那亮（北押原中）
 - 文1の2森田 碧 さん（鹿沼北中）

**囲碁・将棋部
初の総文祭出場**

7月31日より、和歌山県那智勝浦町にて第45回全国高等学校総合文化祭将棋部門が開催され、創部以来初めて出場しました。二段・三段といった格上の対戦相手との連戦に苦戦する中、進2の1大栗



大会会場にて

精進してまいります。応援ありがとうございます。

さやかさん（国分寺中）、特2の1小田千桜さん（白鷺足利中）が、共に目標であった1勝を挙げることができました。

続く8月3日から始まった同大会囲碁部門の団体戦には、栃木県代表として本校から進1の1丸山榛菜さん（足利西中）が出場しました。

丸山さんは、1年生ながらも開始堂々とした対局を進め、個人としては2勝、団体としても3勝を挙げることができ、ベスト16まであと一歩となる、第23位という成績を取ることができました。



将棋部門に出場した大栗さん(左)と小田さん

本校舎トピックス

新入生歓迎球技大会

5月25日、スポーツ日和の天候の中、新入生歓迎球技大会が開催されました。今年の球技大会は河川敷球場でキックベースを、体育館・マルベリー体育館の2会場でソフトバレーボールを行いました。各クラスで競技を選択し、男女別



キックベースボール

チーム・男女混合チームを組み、戦略を立てて臨みました。大会は学年の枠を越えて熱戦が繰り広げられました。各会場とも笑顔が溢れ、歓声が響き、決勝戦まで大いに盛り上がりました。

第3学年進路ガイダンス

6月21日、本校舎3年生を対象とした進路ガイダンスが実施されました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、来校していただく学校を制限しての実施となりました。そのため、生徒は対面型だけでなく、Zoomを利用したオ



ソフトバレーボール

新クラスが発足して、全員が協力して取り組んだ初めての行事となりました。球技大会を通してクラスの仲が深まったのではないかと思います。今回の行事が生徒の良さ思い出になってくれれば幸いです。各競技の試合結果は表の通りです。

- ◆キックベース（男子）
 - 優勝 総合進学コース3年2組
 - 2位 総合進学コース3年3組
 - 3位 総合進学コース1年1組
 - 3位 総合進学コース1年2組
- ◆キックベース（混合・女子）
 - 優勝 総合進学コース2年5組
 - 2位 文理進学コース2年4組
 - 3位 総合進学コース2年1組
 - 3位 総合進学コース2年3組
- ◆ソフトバレーボール
 - 優勝 文理進学コース3年4組A
 - 2位 総合進学コース2年3組A
 - 3位 総合進学コース3年4組A
 - 3位 文理進学コース2年4組A

ンラインで、大学と専門学校の入試説明を受けました。

各学校からは熱のこもった説明や就職試験対策などが提供されました。オンラインによるガイダンスもスムーズに行われました。進路の選択が目前に迫り、生徒は受験生として気が引き締まった様子でした。

富田キャンパストピックス

3年生 小論文ガイダンス

5月22日、第一学習社から講師の鶴島一規先生をお迎えして、3年生対象の小論文ガイダンスが実施されました。



鶴島先生の講演

これからの社会で必要とされる「学力の3要素」を踏まえ、大学入試で多く出題されている小論文について、「なぜ、いま小論文か」というテーマでの講演でした。学生時代だけでなく、社会人になってからこそ、書いて「伝える」こと、話して「伝える」ことが大切であり、「書く力」は一生使う財産であるというお話は大変印象的でした。

また、志望理由書を始め、課題文型小論文・データ型小論文の考え方や文章化のポイントなど、今後役に立つ実践的な話を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

入試のためだけでなく、普段から社会の情勢について知り、問題意識を持って生活することは非常に大切なことだと考えるきっかけとなる講演会でした。

1年生 大学出前授業

○群馬大学

6月3日、群馬大学大学院理工学部より副学長の板橋英之先生をお招きし、「群馬大学発ベンチャーの挑戦」という題目で1年生対象の講演会が行われました。



板橋先生の講演

群馬大学では、抗菌・抗ウイルス効果のある銅繊維を開発し、エレベーターのボタンカバーやマスク等を取り扱うベンチャー企業を立ち上げたということです。コロナ禍において社会に役立つ技術を

開発する大学の研究に、生徒は大変興味を持ったようです。

1年生にとって、今後の進路選択を考える良いきっかけとなりました。

○白鷗大学

7月8日、白鷗大学教育学部より奥澤信行先生を招いて「文系学部の大学受験にあたって」と題された講演会が開かれました。

本校でも長年教壇に立たれていた奥澤先生ですが、熱心な恩師の指導が教育学部を目指すきっかけになったというお話を伺いました。「歌を用いた記憶方法」のお話では、実際に歌いながら今でも覚えていることを、披露してくれました。また、教員生活の中で、非常に特徴的だった生徒の進路決定についても終始和やかに話されていました。目指す夢を実際に叶えた先輩の姿から、夢の実現に必要なコツを掴んだことでしょう。



奥澤先生の講演

3年生進学講演会・大学入試説明会

◆河合塾 進学講演会

5月13日、進学講演会（河合塾）を実施し、21年度入試の実施概況、初めて実施された共通テストの出題傾向、これからの日々の学習の注意点についてお話を伺いました。

22年度入試も昨年度に続きコロナ禍の影響を受けることは必至です。そのような中で、進路実現のためにどのような準備をすべきかを知ることができ、有意義な講演会となりました。

◆大学入試説明会

6月17日、3年生大学入試説明会を行いました。例年は足利市民会館において対面で実施していた説明会ですが、今年度はコロナ禍の影響もあり、富田校舎内でwebでの説明をメインに実施されました。

白鷗大学、足利大学、国際医療福祉大学が来校してくださったほ



大学入試説明会

か、立教大学や成蹊大学、法政大学などがwebで参加してください、約20校の大学による説明会となりました。普段使っているHR教室のほか、特別教室等も使用してのZoomでの説明会でしたが、説明後に質疑応答の時間があり、生徒の質問にもすぐに対応してくださりました。今後の進路選択に大変参考になったと思います。

2年ぶりに 新歓球技大会開催!

5月25日、富田校舎で新入生歓迎球技大会が行われました。昨年度はコロナ感染症拡大による休校に伴い中止されたため、2年ぶりの開催となりました。

本年度は、感染症対策に配慮しつつ皆が楽しめるスポーツとして、サッカー・ソフトテニス・ドッジボール・バドミントン・モルックの5種目が行われました。

今回、初めて導入したモルックは、フィンランド発祥のスポーツで、棒を投げ、数メートル離れたピンを倒すことで点数を競います。運動が苦手な生徒でも楽しめるようにと生徒会が提案しました。2年ぶりに行われた球技大会は、1・2年生にとって初めての大会となりましたが、大きな怪我をする生徒もなく無事に終了すること

ができました。



モルック競技

レクチャーコンサート

7月15日に富田キャンパスのシールガルホールで1年生対象のレクチャーコンサートが行われました。

講師は本校の卒業生、ピアニストの田中あかね先生で「ショパンってどんな人？」という題目での講演でした。ショパンの生涯をスライドで丁寧に紹介しながら要所でショパンの曲を演奏してくれ、大変有意義な時間でした。クラシックをほとんど知らない生徒でもピアノの演奏を聴いてその素晴らしさを味わうことができました。



レクチャーコンサートの様子

茶道部・合唱部・ダンス同好会3年生引退

夏休みを前に、受験を控えた3年生の引退イベントが同好会・部活動で行われ、3年間の集大成を先生方や友人・先輩に披露しました。

○茶道部

7月9日、茶道部3年生の最後のお茶会が開催されました。コロナ禍のため、換気などに十分配慮して茶室からシールガルホールに場所を移しての実施となりました。普段の活動の成果が、その美しい所作に表れており、先生方や生徒たちは美味しいお茶とお菓子を大いに楽しみました。



茶道部

○合唱部

7月13日、合唱部3年生の引退コンサートが開かれました。昨年に続きシールガルホールで観客人数を制限しての開催となりました。

「This is Me!」「Jupiter」「民衆の歌」の合唱に続き、アンコールではRADWIMPSの「正解」を披露しました。生徒たちの歌声に、制限の多い学校生活の中

で精一杯練習に励んだ日々が思い起され、感極まるものがありました。生徒たちの達成感溢れる笑顔が印象的でした。



合唱部

○ダンス同好会

7月21日、3年生を中心としたダンス発表会が行われました。ダンスの内容に合わせて作成した衣装に身を包み、練習の成果を全て発揮して素晴らしい演技を披露しました。見学者からも盛大な拍手が送られ、大変盛り上がりました。



ダンス発表会



白鷗大学だより

フルス ウルトラ PLUS ULTRA — さらに向こうへ

「学校法人白鷗大学」

発祥の地を特定

経営学部・下村健一ゼミ（地域メディア）の学生が、長年不明になっていた白鷗大学のルーツであ

る「足利裁縫女学校」（1915年設立）の所在地を突き止めまし

入る便利な時代ですが、それが全てに当てはまるわけではないということに気付く良い機会になりました。この発見は人との繋がりがから得られたものです。何度も諦めそうになりましたが、下村先生やゼミ生と励まし合いながら約8ヶ月間、何度も足利へ足を運び、歴史ある神社や、長く住む地域の方々へ取材を重ねました。「裁縫女学校」と記された地図資料を手



足利裁縫女学校所在地特定に尽力した（左から）下村教授とゼミ生の高橋さん、野々村さん、篠田さん

これは、同ゼミと両毛新聞社による連載企画「足利百年カルタ」の第1回「あ」として、足利裁縫女学校を取り上げたことが発祥の地の特定に繋がったものです。所在地について情報提供を呼び掛けたところ市民から連絡があり、足利市役所や市立図書館の協力も得て、「裁縫女学校」と記された古地図を発見しました。

野々村真帆さん（経営学部4年）は「分からないことも、スマホで検索すればすぐに情報が手に

新型コロナワクチンの 職域接種をスタート

7月5日から新型コロナワクチンの大学拠点接種（職域接種）を



ワクチン接種の様子

本キャンパスの白鷗国際ホールで開始しました。キャンパス内での感染リスクを下げ、学生の安全・安心な教育研究活動を目的とし、白鷗大学生・教職員など本学関係者を対象に行われました。初日は事前予約を行った430人がワクチンを接種しました。

卒業生が東京五輪で活躍

〜林咲希選手はバスケットボール女子で銀メダル〜

本学の卒業生である林咲希選手がバスケットボール女子日本代表として東京オリンピックの大舞台に立ちました。大学時代からユニバーシアード日本代表に選出されるなど、注目を浴びていた林選手は、プロ入り5年目にしてオリンピック出場の実を叶えました。予選のナイジェリア戦では、3点シュート7本を含む23得点を挙げ活躍。さらに、準々決勝のベルギー戦では、残り時間15・2秒で

3点シュートを決め、劇的な逆転勝利に大きく貢献しました。その後、チームは決勝で米国に敗れたものの、男女を通じて日本バスケットボール界初の銀メダル獲得となりました。林選手を大学時代指導した佐藤智信監督は、「心からおめでとうの言葉を贈りたい。今までやってきた努力は間違っていない。よく頑張った」と健闘をたたえました。



在学時の林選手

卒業生で近鉄ライナーズに所属するトゥッキー ロテ選手が日本代表として出場。経営学部の岩淵健輔准教授が同チームのヘッドコーチを務めました。

接種した木谷友香さん（経営学部2年）は「針がとても細く、痛みはほとんど感じなかったです。副反応が心配でしたが、接種後の待機スペースが確保され、スタッフの声をかけてくれるなどサポート体制が整っていて安心して接種することができました」とほっとした様子でした。

PTAだより

コロナ禍の学校生活

PTA員 西場 伸一



PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

今年度も430名以上の新会員の皆様をお迎えしましたが、昨年から続く新型コロナウイルス感染症防止のため、晴れの入学式に保護者の皆様のお席をご遠慮いただく事態となりました。楽しみにされていた皆様には誠に申し訳なく思

WEB学校紹介

新型コロナウイルスの感染拡大が収束の気配を見せない中、本校では参加を希望する中学3年生や保護者の方々の安全を第一に考え、「一日体験学習」を中止とし「WEB学校紹介」を開催しました。この「WEB学校紹介」は、本校のホームページからの申込みで7月21日～9月21日までの間、本校内で行われていた「一日体験学習」をWEB上でいつでも視聴することができるとい



っております。そして入学式に引き続きPTA入会式も中止され、保護者の皆様にPTA活動をご説明できなかった事をはじめ、5月以降に予定されていたPTA総会、支部懇談会も中止させて頂きました事を重ねてお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスは生徒の皆さんの学校生活にも大きな影響を与えております。夏休みに予定されていた学習合宿の中止、そして本校舎の3年生の皆さんが楽しみにしていた修学旅行も中止になってしまいました。また、10月に予

「入試説明」や「学校説明」、放送部や生徒会の生徒が作成した「学校紹介」、校内見学を疑似体験できる「キャンパスツアー」などが視聴できました。

定されていた3年に一度の「白鷗祭」も新型コロナウイルス感染症拡大によりやむなく中止。大変残念です。このような状況ですが、これからの生徒の皆様にはこの逆境に負けずに頑張ってもらいたいと思っております。そして、この大きな経験を高校生活、将来の社会生活の中で役立てて頂きたいと思

新ALTT デイビッド先生着任

デイビッド・サリバン先生がALTTとして本校に着任しました。デイビッド先生は、これまで熊本県八代市を中心にALTTや様々なイベントのボランティア等で活躍していました。



デイビッド・サリバン先生

皆さん、はじめまして。デイビッドです。9月からALTTとして皆さんと授業内外でお会いすることを楽しみにしています。

私は米国インディアナ州出身で、大学では日本語を専攻していました。在学中には白鷗大学に1年間交換留学しました。

栃木県とインディアナ州は姉妹県/州ということもあり、栃木県の企業が多数進出しています。皆さんの中から将来インディアナで

働く人も出てくるかもしれません。英会話ができるようになるには、言葉だけではなく文化や歴史を学ぶことも大切です。一緒に楽しみながら勉強していきましょう。部活動、スポーツやイベントに興味があるので、気軽に誘ってください。よろしくお願ひ致します。

白鷗祭中止のお知らせ

本校舎で10月1・2日に開催される予定だった3年に一度の白鷗祭が、新型コロナウイルス感染症拡大の現状を踏まえ中止となりました。今年度は新たに【創作展示】・【エンターテイメント】部門を設定し、部門賞を目指してクラス企画に取り組めるように準備をしていました。今回のテーマは総3の3椎名風海さん(総和北中)の「白鷗祭がワクチンだ！〜距離はディスプレイ、気持ちは密に〜」に決定していました。生徒の記憶に残る白鷗祭を目指していましたが、残念ながら中止となり、現在、代替えの企画を検討中です。



◇ポスター制作
総3の2 櫻井希美さん(若舟中)

編集後記

今夏、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年の延期を経て開催されました。1964年以来、57年ぶりとなる東京での開催。アスリート達が、メダル獲得や勝利を目指して必死に戦う姿が印象的でした。

本校では今年度も感染症対策を講じたうえで、入学式・新入生歓迎球技大会・進路ガイダンス等の学校行事を実施しました。また、部活動では2年ぶりに関東大会・インターハイが開催され、本紙63号には「感謝」の言葉が多く並びました。

感謝の気持ちを表す代表的な言葉「ありがとう」は「有り難い」と書き、「有ること」が「難い」となり「減多にない」という意味になります。学校生活が送れること、各行事に取り組みたり大会に出場したりすること等、コロナ禍以前にできていたことは、もはや当たり前のことではありません。コロナ禍の中で「当たり前」に感謝する心を養いたいものです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町三の二
0284-41-0890
制作・(有)コエイプロセス
発行日・令和3年9月30日